

山行時の事故報告書

山行時の事故、ほかの問題点

- 報告者氏名(田中 誠)
- 例会№ (10214)L(田中)
- 発生日時 (2025年 8月 18日 14時頃)
- 天候 (晴)
- 発生場所 (間ノ岳付近)

事故の状況(該当事項に丸印)

- Ⓐ 重傷事故 大きな障害が加わった
- B 軽微事故 何らかの付加が加わったが、大きな障害に至らなかった
- C 未然対応 付加の加わる前に、未然に対応できた

危険度 (該当事項に丸印)

- Ⓐ非常に高い B経過によって高い C高い D低い E殆ど無い

ヒヤリ・ハットの事例の種類(該当事項に丸印)

- Ⓐ装備 B食料 C車両 D交通事故 E体調 Fランクスピード G転倒
- H転落 Iスリップ J滑落 K増水 L動物 M植物 N落雷 O道迷い
- P打撲 Q指示ミス
- Ⓓその他(落石、ルートミス)

当事者(集計時には氏名は未公表。性別 年齢のみ公表)

氏名 上田篤史 性別 男 年齢 46歳

(経過報告等)

会員外の3名と上田君含む5名で新穂高から8時のロープウェイで入山。西穂高を超えて14時頃に間ノ岳ピークを過ぎて、土付きから鎖場の下りに入る。当時の歩行順は、先頭Y氏、2番手K氏、3番手上田君、4番手田中、ラストKT氏。5mほどの鎖場の下りを順に2段ずつ下りていて、上田君が土付の最上部に着いた時に、土に埋まっていた600×300×200(mm)程度の大き目の長方形の岩を踏む。岩がスライドした瞬間に「危ない」と後方から声を出し(田中)、同時に上田君が動き出した岩を足で止めようとしたが落石。2番手のK氏の横をかすめ、1番手のY氏のヘルをかすりザックを破り落下。落石時の声掛けで、山側に寄り鎖を保持したとのことなので滑落を免れた。同時に下に居た2名に負傷がないか声掛けをし、無事を確認。その後、上田君が足が痛いと言ったので、駆け寄り確認すると、右足くるぶし下の足を負傷しており、皮膚が高さ4cm程度、幅8mm程度めくれ出血していた。本人はパニック状態だったが、ひどい傷ではなかったので、すぐにテープで止血し、歩けるか確認するも、不可能との返事だったので、ソフトバンクキャリアが届いたので所持していたY氏が警察に山岳事故の連絡をすぐに実行。その後、ヘリがピックアップしやすい鎖場の下まで、Y氏と田中でスリング等で下ろす。40分後にヘリが到着し上田君と彼の荷物をピックアップして搬送してくれました。靴下がローカットでアプローチシューズと同じ高さだったので、怪我也大きくなったと推測される。上田君は高山赤十字病院で13針縫い、患部が開かないようにギブス固定し、松葉

づえを借用しホテルへ宿泊。我々はその後、天狗のコルでビバークし、翌日予定を変更し、穂高岳山荘裏の白出沢ルートで下山。夕方ホテルで待機している上田君をピックアップし帰ってきました。

帰宅後の通院で 10 日後には抜糸の予定と診断されたようです。仕事も 21 日から通勤しているようです。

(補足)

- ・今回、落石を起こすことが自身の怪我にもつながり、仲間の危険もともなってしまったので、推測される原因について上田君には伝えました。本人は大きな岩だったので動くと思わなかったと話してましたが、土に 3 方埋まっているものの、谷側の 1 方は空中だったので、それは動いてもおかしくないと伝えました。
- ・下りの足の置き方が雑だと皆感じたので伝えました。練習での山行を 2 回メンバー含むで行っているがガレ場では行ってないので能力を見れなかった。当日、事故が起こるまでにも、下りで、すぐ下のメンバーの手を踏む行為もやってるので、下りで下が見れてないし、勢いが止めれないんだと思いました。その時も注意をしたが、事故を起こしてしまった。
- ・事前の練習山行やグループ LINE で装備を話していたが、ローの靴下でくるとは思わなかった。あたりまえが当たり前じゃないと思ったので今後の教訓にしたい。装備重量をできるだけ軽く周知していたが、当日、出発前、他と変わらないかそれ以上の重さだったので中身をチェックし不要なものを車にデポしてもらった。事故後、水だけ置いて行ってもらおうとヘリを待つ間に要求したところ、金属の水筒に入れてきていて、啞然として、注意してしまった。
- ・踏んで落とした岩はクライムダウンポイントより先にあり、実際はルートから外れて、先の状態を見るためにその岩を踏んだと思われます。最後尾の KT 氏が上田君が下をのぞき込むような動作をしていて岩を踏んで動かしたと話してました。先の 2 名がクライムダウンした時の記憶ではその岩は踏んでないと、2 名の真上の岩ではなかったので、推測されます。
- ・高山警察の担当課へお礼とお詫びの手紙を投函してもらってます。
- ・山行中も高山警察から確認の連絡が何度かありました。登山届については、登山口とコンパスで提出していると伝え、事故が起こった状況などについて報告しました。下山後に連絡を入れるように言われたので、一報しましたが無事下山の確認が欲しかったようでした。